

平成 29 年度 後学期
お茶の水女子大学 生活科学部 特別設置科目のご案内
(ECCELL 社会人プログラム)

後学期は、集中講義で 2 科目が開講されます。

【後学期】

集中講義：ECCELL 子ども学ゼミⅣ (1 単位)

集中講義：ECCELL 乳幼児教育論Ⅳ (1 単位)

ECCELL 子ども学ゼミⅣ (科目コード 17O0161) 1 単位

集中講義 10月21日(土)、11月23日(木)、12月9日(土)、1月6日(土)

担当：浜口順子 (お茶の水女子大学 基幹研究院人間科学系 教授)

主題と目標

雑誌『幼児の教育』の講読を行う。同誌は、1901年に『婦人と子ども』という誌名で現職保育者と研究者による研究会の機関誌として創刊されて以来、現在まで刊行される雑誌で、現職者や学識者、保護者や他領域の専門家にいたる多様な執筆者による、各時代の幼児教育・保育に関する論考が掲載されている。受講者の関心や研究テーマを反映させて、バックナンバーから記事を選択し、共同して読み討議することを通して、子どもや教育への理解を深めることを目的とする。

受講条件・その注意

特になし。

授業の形態

講義 討論 講読 実験 実習 実技 発表 演習

(*各自の研究発表は行わない)

教科書・参考図書

雑誌『幼児の教育』(フレーベル館)および同誌アーカイブズ(数年前のものまで、WEB 上ダウンロードして読むことが可能。 <http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/52377>)

評価方法・評価割合

■小論文(レポート)(割合:20%) ■授業への参加態度(割合:50%) ■発表(割合:30%)

授業日程

日程 10月21日(土) 11月23日(木) 12月9日(土) 1月6日(土)

時間 9:30~12:30(10分休憩含む)

教室 本館3階344(予定)

時間外学習

毎回の授業の前に課題が提示される。

学生へのメッセージ

各自の研究テーマに近いものを読み討議しながら、それぞれの子ども学を探究する契機にしてもらいたい。

ECCELL 乳幼児教育論Ⅳ (科目コード 1700163) 1 単位**集中講義 11 月 4 日(土)、12 月 2 日(土)**

担当：宮里暁美（お茶の水女子大学人間発達教育科学研究所 教授

・文京区立お茶の水女子大学こども園園長)

主題と目標

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂される今、0 歳児～5 歳児までの発達を見通した保育カリキュラムおよびカリキュラムマネジメントの重要性が強調されている。発達の連続性に根ざしたカリキュラムを作成していく上で重要なのは発達の理解である。本授業は「子どもの世界の探究と理解」を主題とし、子どもの姿について画像を通して「育ちの実際」について検討する。また、本大学内にあるこども園の保育室で学びの時間を持ち、「子どもが感じていることを感じる」「遊ぶ」という体験を通して理解を深めていく。

子どもの姿、受講者自身の体験、文献からの学び等を通して得た理解を基盤に、豊かで確かな育ちを支える保育を構築する手がかりを得ることを目標とする。

受講条件・その注意

現在乳幼児教育や学校教育に携わっている方、将来乳幼児教育に携わりたいと考えている方、乳幼児教育に関心のある方を対象とした内容です。

授業の形態

■講義 ■討論 □講読 □実験 □実習 □実技 □発表 ■演習

教科書・参考図書

授業で紹介する。適宜レジュメや資料を配布する。

評価方法・評価割合

- 小論文（レポート）（割合：50%）
- 発表（割合：30%）
- 授業への参加態度（割合：20%）

授業日程・授業計画

11 月 4 日 (土) ①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-16:30

子どもの世界の探究と理解（1）（0～2 歳児の子どもたちの姿と保育の実際から）

- ①子どもが育つということの意味を探る
- ②0～2 歳児の姿（画像）から、「体験の意味」について検討する
- ③ワークショップ「感じる世界を感じる」：カラダ・素材・自然
- ④0～2 歳児の育ちと援助の在り方を学ぶ

12 月 2 日 (土) ①9:00-10:30 ②10:40-12:10 ③13:20-14:50 ④15:00-15:45

子どもの世界の探究（2）（3～5 歳児の子どもたちの姿と保育の実際から）

- ①子どもが育ち合うということの意味を探る
- ②3～5 歳児の姿（画像）から、「体験の意味」について検討する
- ③ワークショップ「遊ぶ世界を遊ぶ」：遊具・人間関係・イメージ
- ④3～5 歳児の育ちと援助の在り方を学ぶ

教室 本館 1 階 128/ お茶大こども園

学生へのメッセージ

保育の実際について、語り合い学び合う機会になればと願っています。受講者の皆さんと作り上げる授業にしていきます。